

令和7年度 女性医師支援・ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議

令和7年10月25日（土）開催

群馬県医師会

令和7年度 女性医師支援・ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議

ドクターバンクの状況について

女性医師支援の取組状況について

復職・再研修支援体制について

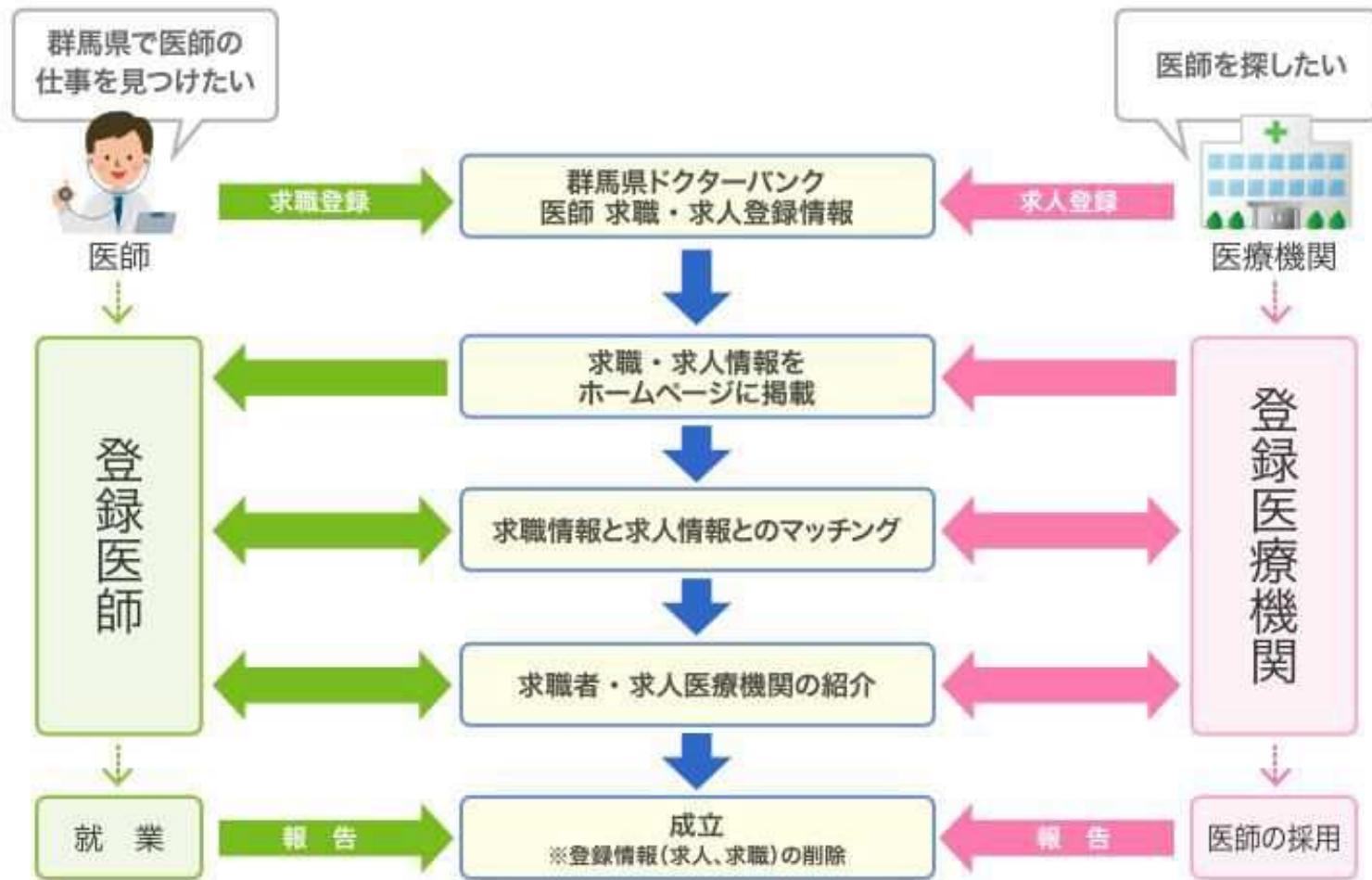
ドクターバンクは群馬県が運営



- 平成19年に運用開始
- 登録医療機関**174**施設 (求人件数**199**件)
- 登録医師**34**名 (R7.8.19時点)

→登録医師は県外で働いており、将来的に群馬県で働きたいという方が先を見越して登録をしているケースが多い。

登録から就業までの流れ



ドクターバンク斡旋成立実績

年 度	人 数	年 度	人 数
平成19年度	7	平成29年度	1
平成20年度	4	平成30年度	0
平成21年度	3	令和元年度	1
平成22年度	2	令和2年度	0
平成23年度	2	令和3年度	0
平成24年度	1	令和4年度	0
平成25年度	3	令和5年度	0
平成26年度	0	令和6年度	0
平成27年度	0		
平成28年度	1	合 計	25

斡旋成立者の診療科・性別・就業区分

診療科	人 数
内科	11
麻酔科	4
泌尿器科	3
小児科	2
皮膚科	2
精神科	2
神経内科	1
合 計	25

性別	人 数
男性	13
女性	12
合 計	25

就業区分	人 数
正規	16
非常勤	9
合 計	25

ドクターバンクの運営状況

- 年間の問い合わせは数件程度(過去5年間)
【令和7年度 9件 (8/19現在)】

PR方法

- 群馬県ホームページ
- e-doctorのサイトに掲載
(医師求人・医師募集・医師転職・医師求人広告専門の就職・転職情報サイト)
- チラシ作成



ドクターバンクの課題と対応状況

課題

- ドクターバンクの充実

群馬県の対応状況

- 令和6年度から、医療機関と求職医師を仲介する「ドクターバンクコーディネーター」を配置
- 医療機関への求人登録依頼、登録医療機関の情報収集を強化するとともに、求職医師への随時情報提供など、よりきめ細かい支援を実施

令和7年度 女性医師支援・ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議

ドクターバンクの状況について

女性医師支援の取組状況について

復職・再研修支援体制について

群馬県医師会保育サポートバンク

群馬県医師会では、保育サポートバンク事業によって、子育て医師の離職を防ぎ、就業(キャリア)継続の支援をしていくことが、女性医師のキャリアアップ支援にもつながっていくと考えております。

群馬県医師会保育センター銀行とは

- ① 子育て医師が**仕事と家庭を両立**するための支援
- ② 子育て医師に対して、**保育支援相談員**が、そのニーズに沿った**保育**
センターの情報提供や紹介をして、**就業継続**を支援
- ③ 支援内容は……
 - 保育所・幼稚園や習い事への送迎
 - 自宅もしくはセンター宅での預かり
 - 病気の時の預かり 等



群馬県医師会保育サポートバンクとは

財 源

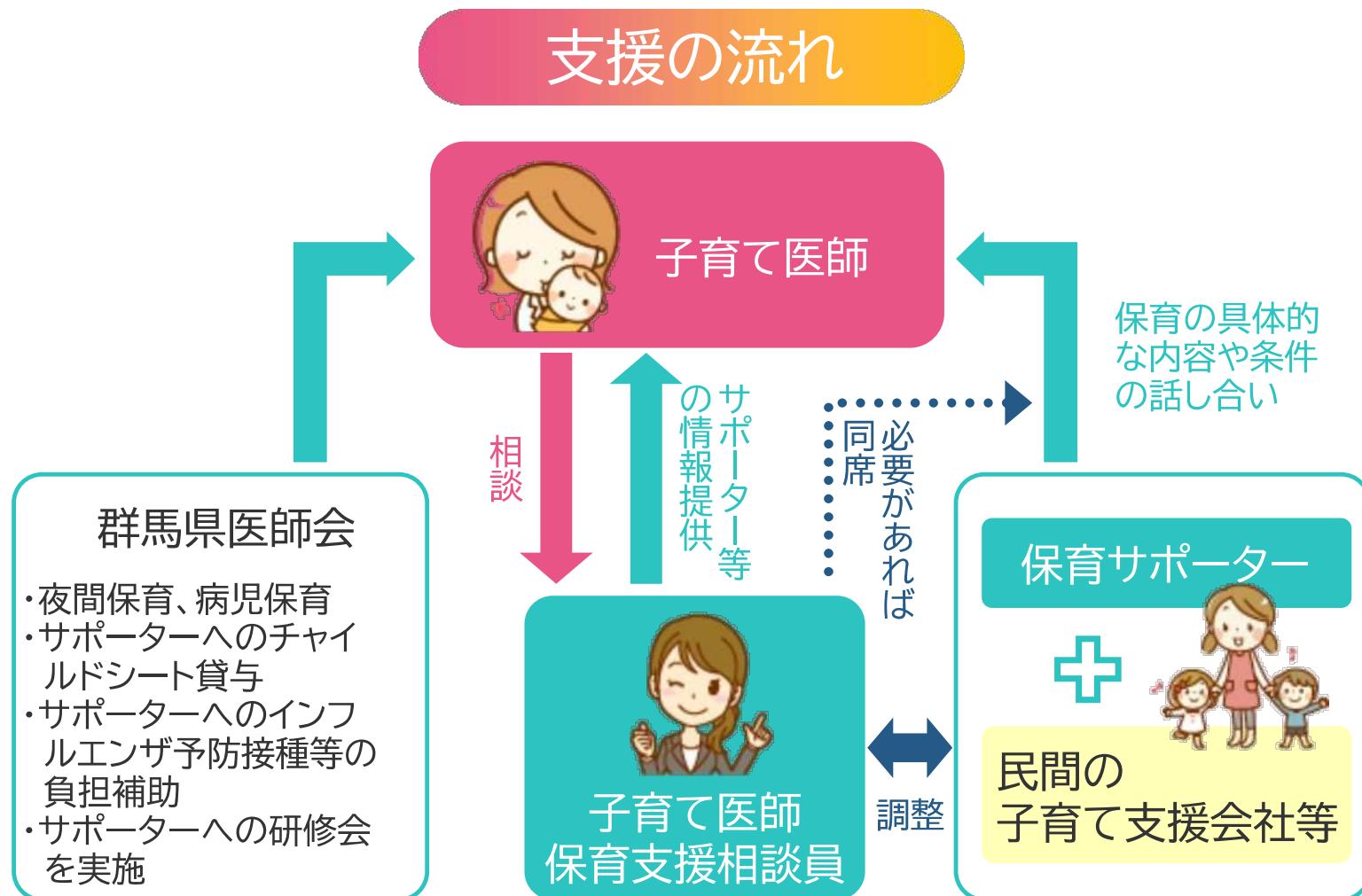
「地域医療介護総合確保基金」

…女性医師等就労環境整備・保育支援事業

年 度	地域医療介護総合確保基金活用実績
平成28年度	1494.6万円
平成29年度	1276.1万円
平成30年度	1277.4万円
令和元年度	1271.1万円
令和2年度	1239.2万円
令和3年度	1275万円
令和4年度	1245.9万円
令和5年度	1366.4万円
令和6年度	1291.7万円

(平成27年度までは「地域医療再生基金」も活用)

群馬県医師会保育サポートバンクとは



群馬県医師会保育センター銀行とは ～センターへの報酬～

次表のとおりです。ただし医師とセンターの相互合意のうえ、次表の報酬を上回ることは差し支えありません。

支援活動時間帯等	1時間単価
平時（7時～19時）	1,400円
上記時間外	1,600円
病児、病後児保育 平時（7時～19時）	1,600円
病児、病後児保育 上記時間外	1,600円
お泊り（19時～翌8時）	10,000円

*土曜・日曜・祝日も同額

※当日キャンセルの場合は、
1時間単価の半額を負担

※食事を用意した場合は、
就学前は300円、
就学後は500円を負担

- ・支援活動時間は、保育センターが支援をするために自宅を出た時間から、支援を終えて自宅に戻るまでの時間を指す
- ・複数の子どもを同時に預ける場合、二人目からは、一時間単価の半額
⇒(平時・時間外双方とも)病児・病後児保育は除く

群馬県医師会保育サポートバンクとは ～助成制度～

・子育て支援助成制度

利用医師に対し、県医師会から利用料金の一部を助成します

利用時間帯等	補助単価等
平時（7時～19時）	600円×時間数
時間外及び病児・病後児（平時）	800円×時間数
病児・病後児（時間外）	800円×時間数
お泊り	2,000円×日 数

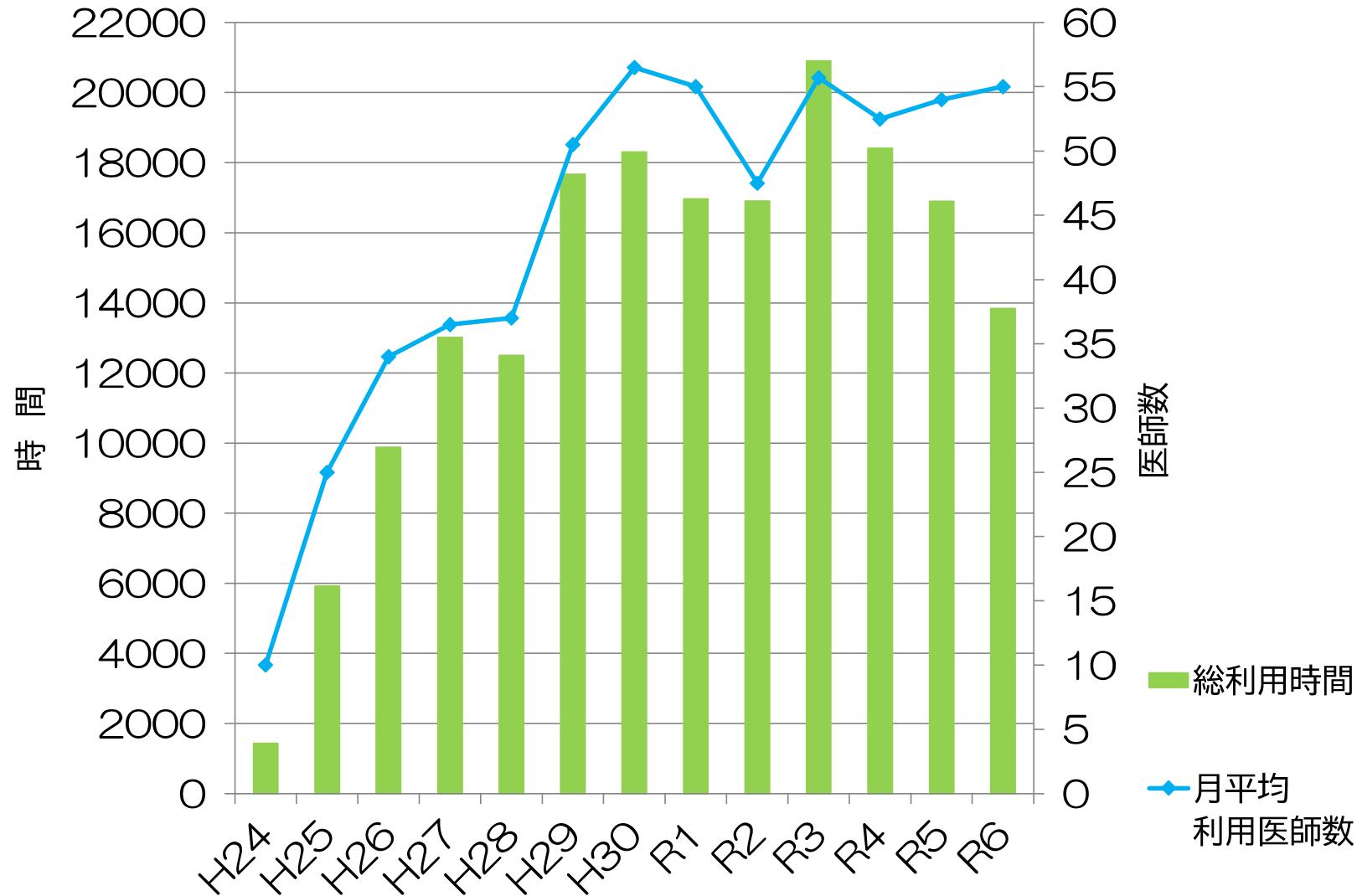
- ・チャイルドシート・ジュニアシートの貸与制度
- ・インフルエンザ予防接種料金の助成制度
- ・タクシー料金の助成制度

→ 保育センターに対しての助成になります

保育サポートバンクの実績

年度	月平均利用医師数	平時利用時間	時間外利用時間	平時病児利用時間	時間外病児利用時間	総利用時間	
H24	10	918.5	307	209.5	3.5	1438.5	5月設立
H25	25	4623.5	923.5	366	11.5	5924.5	
H26	34	7892	1255.5	724	6	9877.5	
H27	36.5	10970	1440.5	596	8	13014.5	
H28	37	10647.5	1554.5	305	2.5	12509.5	
H29	50.5	15319	2001.5	347.5	7.5	17675.5	
H30	56	15244.5	2397	644	25.5	18311	
R1	55	14325.5	2250.5	390.5	9.5	16976	
R2	47.5	14746.5	2105.5	61	0	16913	
R3	55.7	17553	2938.5	413.5	1	20906	
R4	52.5	16293.5	1982	132.5	4.5	18412.5	設立10年
R5	54	14442	2146	312.5	1.5	16902	
R6	55	11883.5	1692	258.5	7	13841	

保育サポーターバンクの実績



保育サポートバンクの現状と課題

登録状況(令和7年9月20日現在)

累計登録医師数**286**名

利用医師数 **130**名※

累計登録サポート数**289**名

活動サポート数 **150**名※

※R5.4.1～R7.9.20の実利用・活動数

令和7年8月の利用実績

利用医師数**55**名

利用子ども数**82**名

今後の課題・取組

登録当時とライフスタイル等が変わった（サポートー自身の親の介護、孫の世話が必要になった等）ことに加え、高齢化によりサポートを控える方も増えており、利用希望医師とのコーディネートに苦慮している。地域情報紙やラジオ、県の広報誌での募集を行っているが、定着に繋がらず、引き続きサポートー集めが課題である。

医師のための子育て応援ブックについて

群馬県医師会女性医師支援委員会では、子育て世代やこれから子育てをする世代への一助となるよう、「医師のための子育て応援ブック」を作成した。
(令和5年10月発行)

掲載内容

- ・群馬県の子育て医師支援体制
- ・ロールモデル(女性医師6名、男性医師2名)
- ・県内病院の子育て勤務中に関する制度
や院内保育等の施設情報(県内60病院)



令和7年度 女性医師支援・ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議

ドクターバンクの状況について

女性医師支援の取組状況について

復職・再研修支援体制について



男女協働キャリア支援部門の取り組み ～誰もが働きやすい環境を～

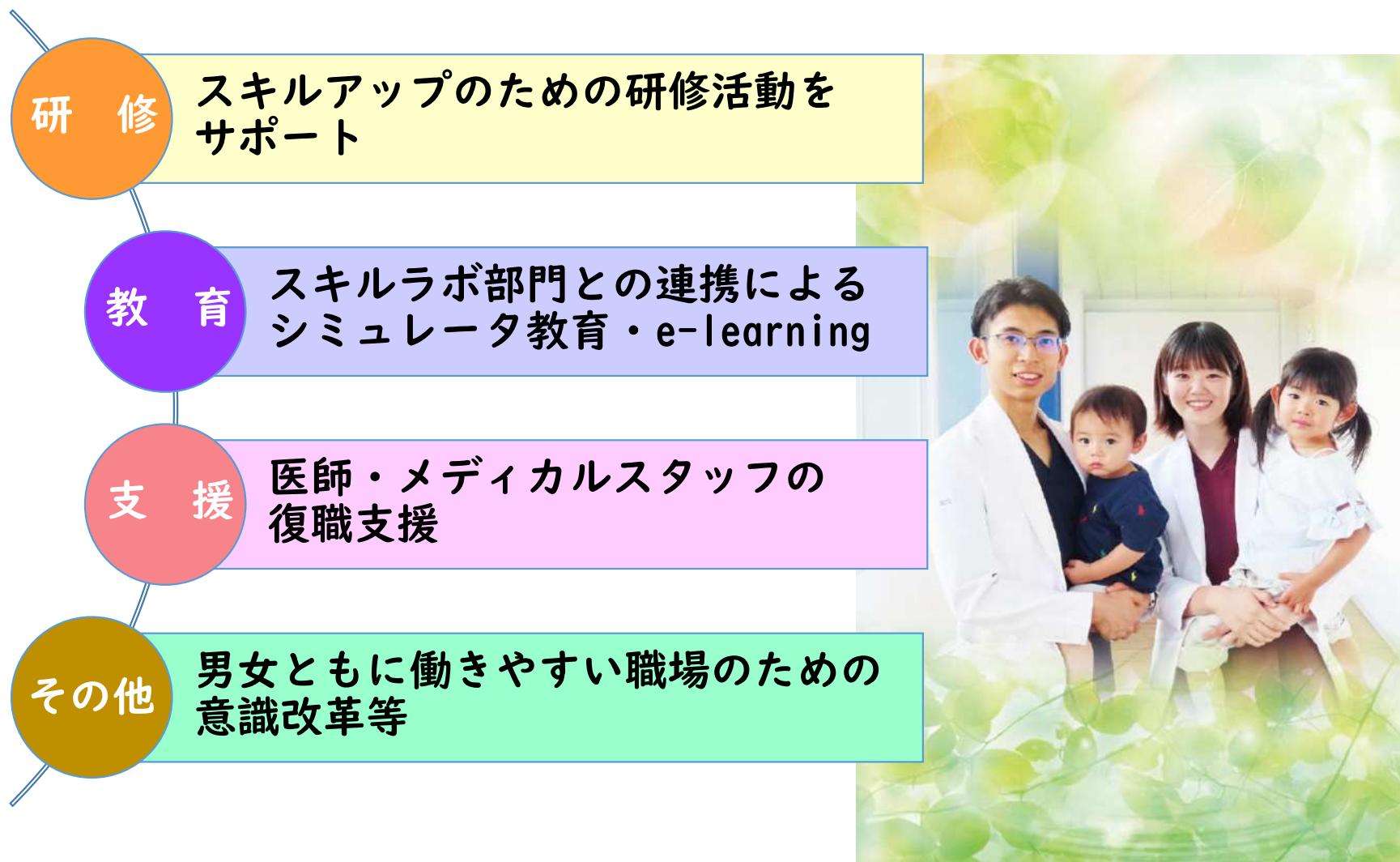


群馬大学医学部附属病院
地域医療研究・教育センター

群馬大学医学部附属病院の取り組み

・群馬大学医学部附属病院 地域医療研究・教育センター内の、**男女協働キャリア支援部門**では、男女を問わず、充実したキャリアを目指す医療者の現場復帰を支援している。

男女協働キャリア支援部門の活動



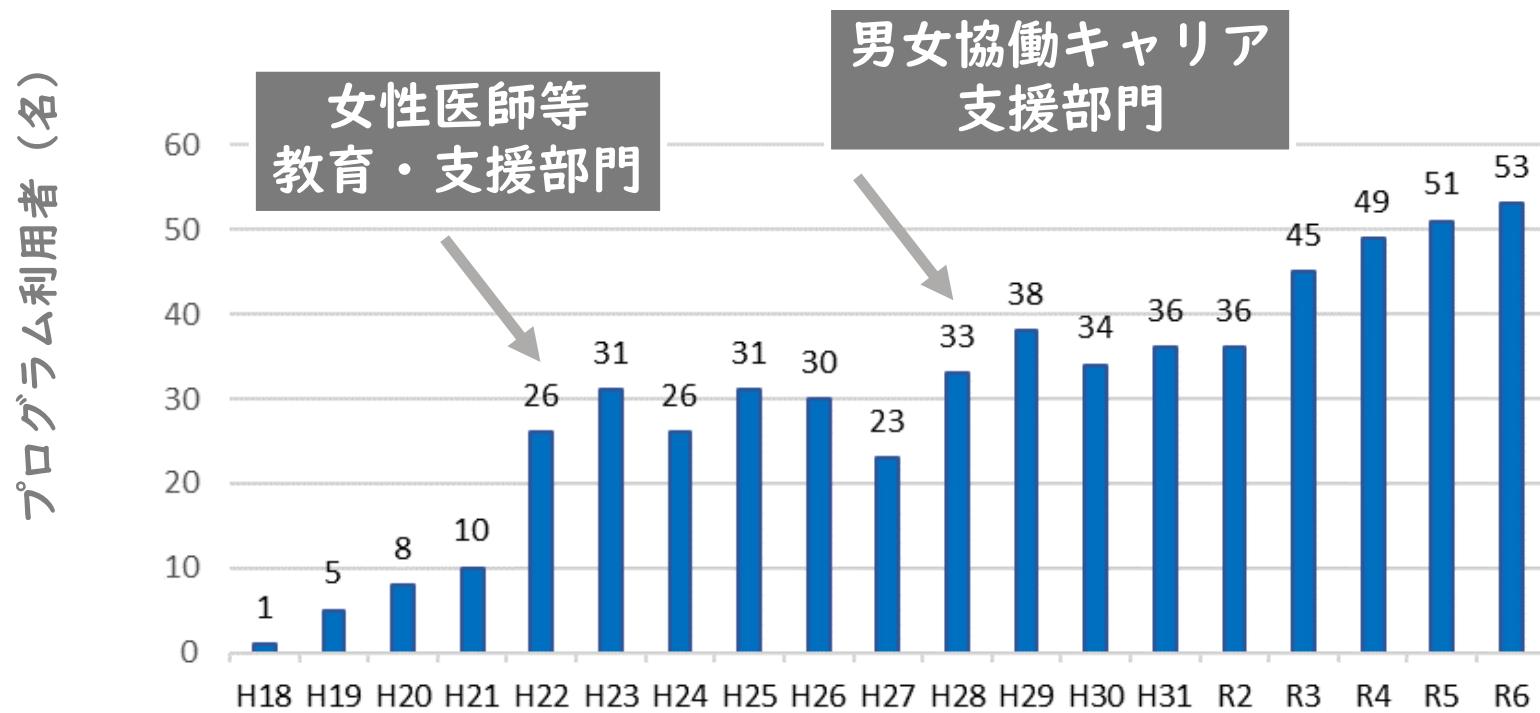
短時間勤務から無理なく復職



各自の意向に沿った支援

- ・通常業務に復帰するまでの再教育支援
- ・継続的な高度医療の知識・技術の習得

男女を問わず医師のワークライフを支援



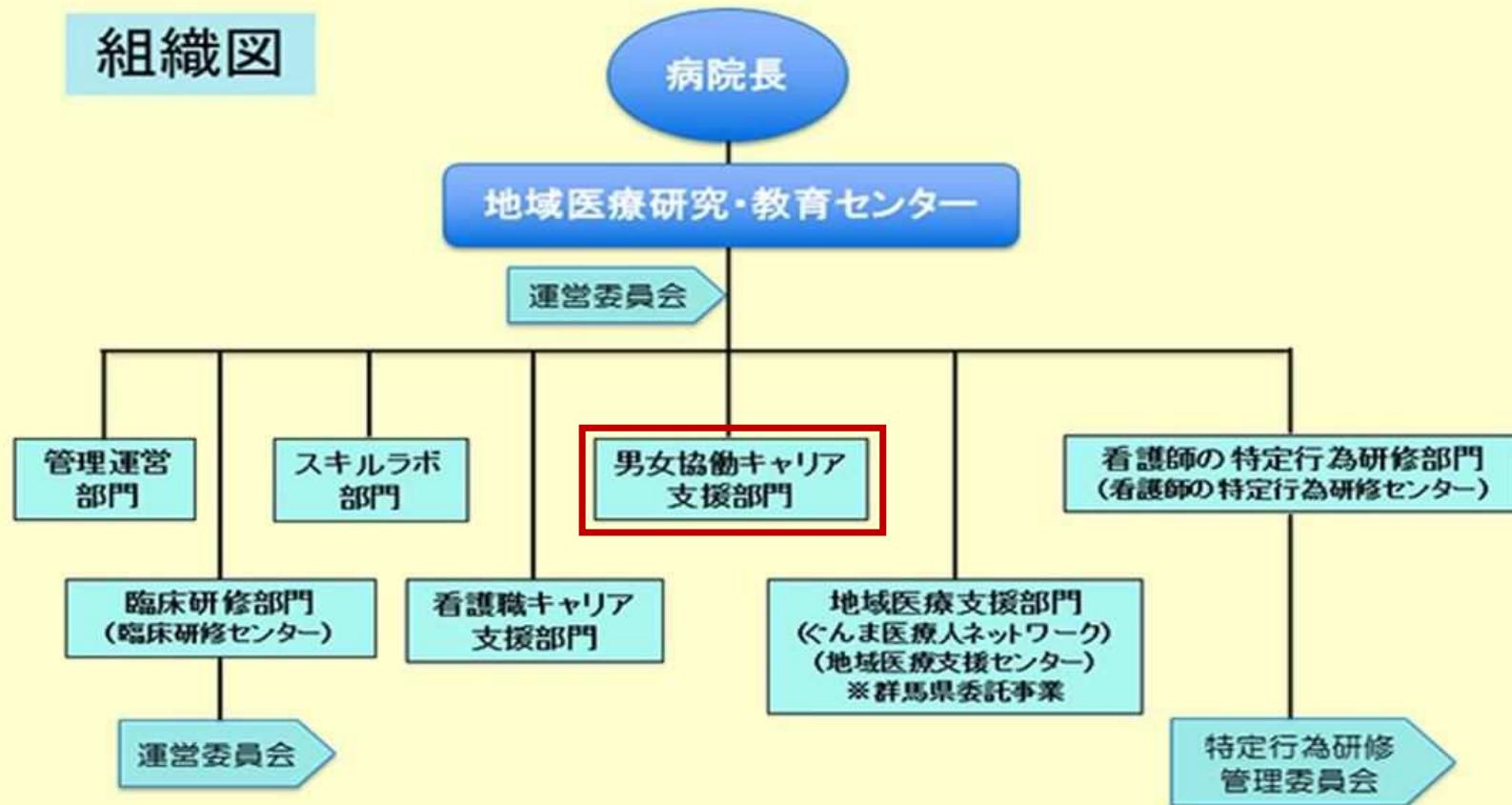
常勤医として復職へ

支援プログラム修了者数

	令和6年度 (53名)	令和5年度 (51名)	令和4年度 (49名)	令和3年度 (45名)
計（名）	19 (35.8%)	6 (11.8%)	12 (24.5%)	10 (22.2%)
常勤医（名）	12	4	3	3
非常勤医（名）	6	1	1	1
その他（名）	1	1	8	6

地域医療研究・教育センター各部門との連携

組織図



学内外との連携

<群馬県医師会>

- ・医学生・研修医等をサポートするための会
「教えて、先輩！～ワーク・ライフ・バランスを考えよう～」

<群馬大学・医学系研究科ダイバーシティ推進センター>

- ・群馬大学ダイバーシティ推進センターシンポジウム
「画一性と排除」から考える
「多様性と包摂 (Diversity&Inclusion) 」

- ・医学系研究科ダイバーシティ推進委員会セミナー
「育休のススメ」



男女協働キャリア支援部門 ～取り組みにあたっての課題・問題点～

- 医師によりキャリアに対する希望やご家族など支援体制も異なる
 - 所属診療科と連携し、個別に丁寧な対応が必要。
 - 働き方や専門医取得に関する希望についてのアンケートを行い、新規プログラム利用者に対して、個別面談を実施している。
- 医師夫婦も多く、復職後も女性側に育児や家事の負担が多い
 - 男性医師の育休取得はごく少数であり、共働きの世帯で安心して子育てできる環境整備が継続的に求められている。

(男女協働キャリア支援部門担当者の見解)

病院内保育所運営費補助金事業

群馬県庁での事業

当初は看護師の復職と定着を目的として始まり、
平成14年からは、医師などの職種にも適応となった

看護師や医師の子どもが保育所を使う場合に、
子どもの人数や保育士の人数、病児の預かりや
負担に応じて病院保育所に補助金が支給される



月謝を一定額に抑えることや、各病院の負担を軽減して
保育所運営を継続してもらうことで、女性医師等が産休明けに
安心して復職できる環境を創出している

病院内保育所運営費補助金事業

群馬県庁での事業

当初は看護師の復職と定着を目的として始まり、
平成14年からは、医師などの職種にも適応となった

看護師や医師の子どもが保育所を使う場合に、
子どもの人数や保育士の人数、病児の預かりや
負担に応じて病院保育所に補助金が支給される



令和6年度の交付実績
31施設 62,585千円